



※本資料は 2024 年 4 月 25 日に米国で発表された[資料](#)の抄訳版です。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先されます。

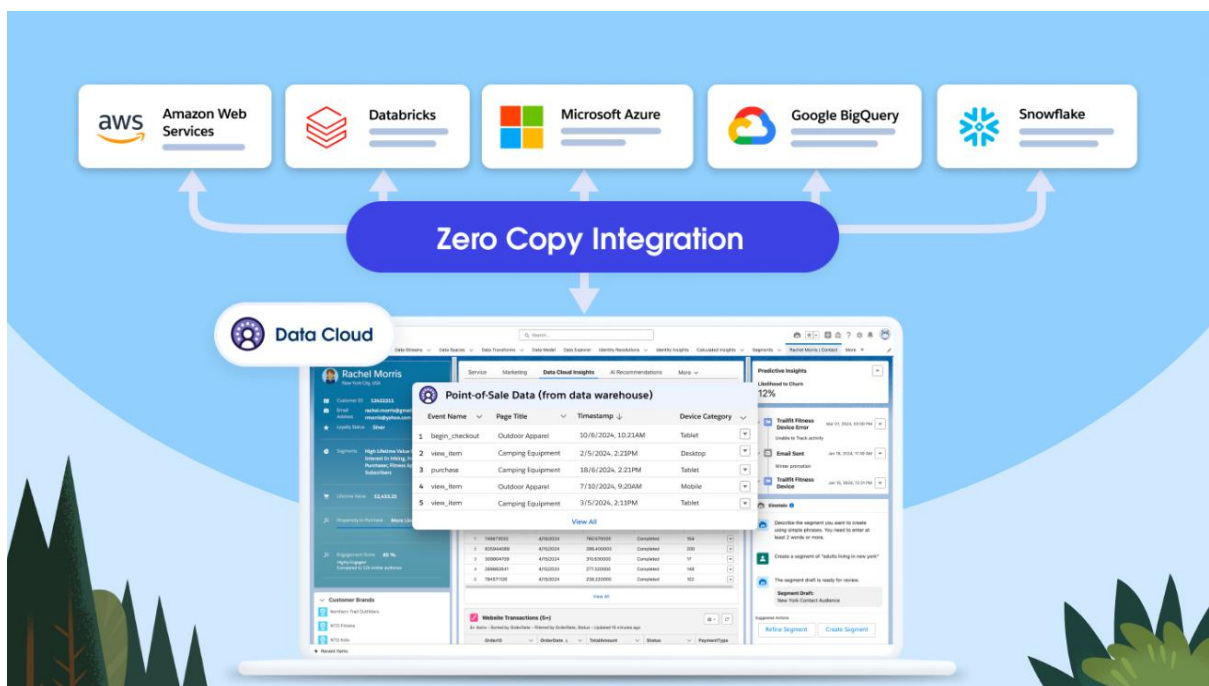
※Einstein Copilot の一般提供開始についても発表しており、詳細は[リンク](#)よりご覧いただけます。

2024 年 5 月 2 日

株式会社セールスフォース・ジャパン

Salesforce、「Zero Copy Partner Network」を発表

Data Cloud とのセキュアで双方向の ゼロコピー統合に取り組むエコシステム



Zero Copy Partner Network は、初期パートナーの Amazon Web Services (AWS)、Databricks、Google Cloud、Snowflake に Microsoft を加え、
顧客があらゆるデータに接続し、アクションを起こすための安全でコスト効率の高い方法を提供する
Salesforce とのゼロコピー統合の取り組み

Apache Iceberg のようなオープンなテーブルフォーマットで構築されたデータウェアハウスやデータレイクハウスを Salesforce Data Cloud でゼロコピーサポートすることで、

データのコピーや移動が不要となり、顧客はデータを解放することで、
AI、自動化、アナリティクスで *Customer 360* の体験を強化が可能に

このネットワークには、*Salesforce Data Cloud* に価値ある新しいデータセットをもたらす新しい *Zero Copy* データキットを構築する *Salesforce ISV* パートナーや、
Salesforce Data Cloud の実装で顧客を支援する *Accenture*、*Cognizant*、*Deloitte Digital*、*PwC* などの
Salesforce SI パートナーも参画

米国セールスフォース（以下、Salesforce）は、Salesforce Zero Copy Partner Network を発表しました。本ネットワークは、[Salesforce Data Cloud](#) とのセキュアで双方向のゼロコピー統合を構築し、Salesforce [Einstein 1 Platform](#) 全体でデータを活用できるようにするテクノロジーおよびソリューションプロバイダのグローバルエコシステムです。Salesforce は、[Apache Iceberg](#) のオープンテーブル形式を利用するオープンデータレイクとレイクハウスの新しいゼロコピーサポートや、価値のあるデータセットを Data Cloud の顧客に配布するためのデータキットを開発する ISV パートナーのゼロコピーサポートの追加などのイノベーションを発表しました。

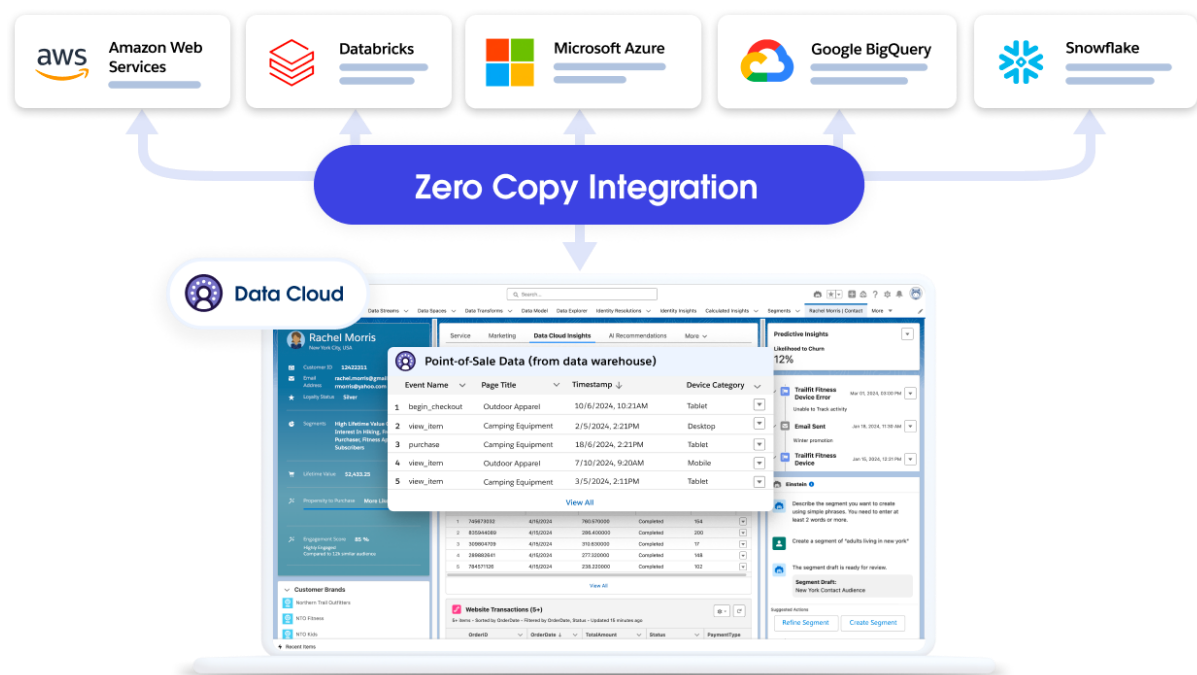
Salesforce のプレジデント 兼 最高執行責任者（COO）のブライアン・ミルハム（Brian Millham）は、次のように述べています。「今日のデジタル環境では、企業はさまざまなシステムに分散したデータの島と苦闘しています。このグローバルなパートナーエコシステムにより、企業はあらゆる場所に存在するすべてのデータにアクセスし、Salesforce 内であらゆるデータのパワーを引き出すことが可能となります」

ゼロコピーが重要な理由

Salesforce Data Cloud は、構造化および非構造化を問わず、すべての顧客データを統合し、Salesforce 内でアクセス可能な 360 度のビューを提供します。チームは業務フローの中で直接データに基づいた意思決定を行うことができます。

このデータは、情報へのアクセスにとどまらず、実用的なインサイトを促進します。例えば、顧客が自社ウェブサイトの価格ページを訪問した際に、Slack メッセージで営業担当者に通知するなど、顧客の行動に基づいた自動化されたトリガーが想定されます。このリアルタイムの情

報により、迅速なエンゲージメントが可能になります。Data Cloud は、信頼できる AI の基盤も提供します。データを一元化してクレンジングすることで、AI モデルが最も正確な情報に基づいて動作するようになります。Salesforce は以前、Amazon Redshift、Databricks、Google Cloud の BigQuery、Snowflake とのパートナーシップを通じて、Data Cloud とのゼロコピーにより双方向で統合するコンセプトを導入しました。ゼロコピーなしでは、企業は Salesforce から外部データウェアハウスへのデータの統合と移動のために、カスタム統合と複雑なデータパイプラインに頼る必要があります。従来の抽出や変換、ロード（ETL）プロセスやデータパイプラインとは異なり、ゼロコピー統合は、データをビジネスアプリケーションに接続する、より効率的で安全でユーザーフレンドリーな方法を提供します。



Zero Copy Partner Network による、Salesforce Data Cloud とのセキュアな双方向ゼロコピー統合の実現に向けた取り組み

Salesforce のゼロコピー統合により、組織は次のことが可能となります。

- **コピーなしで（リバース ETL なしで）ライブの外部データにアクセス：**リバース ETL パイプラインを立ち上げるなど、他のシステムからデータにアクセスする従来の方法は、コストがかかり、脆弱なものでした。企業は、接続を構築して維持し、時間の経過

とともに変化するデータを調整する必要があります。ゼロコピー統合により、Salesforce のチームはクエリまたはファイルへの仮想アクセスによって、データが存在する場所からデータにアクセスすることができます。

- **業務フロー中で、どこからでもデータにアクセス可能** : Data Cloud に取り込まれ、解放されたデータは、Salesforce のメタデータフレームワークの一部となり、ビジネス インテリジェンス (BI) や AI インサイトの生成、マーケティングのセグメンテーションや有効化、セールス、サービス、マーケティング、コマースにわたる統一された顧客体験の作成、Tableau による分析など、様々な方法で使用できます。例えば、Data Cloud-Triggered Flow は、出荷が外部のデータレイクで遅延とマークされた際、Slack でアカウントマネージャへ最新の状況を伝え、すぐにクライアントに連絡できるようにします。
- **Customer 360 のインサイトをコピーなしで共有** : Salesforce のゼロコピー統合は、単にウェアハウスやデータレイクからデータを読み取るだけではありません。データを複製することなく、AI や BI のインサイトとともに、調和され統合された顧客データなど、貴重なインサイトをこれらのシステムに戻して共有できます。
- **ガバナンスとセキュリティの維持** : 従来のデータガバナンスでは、ソースデータの整合性を維持するためにシステム間でデータを手動でコピーすることが多く、下流に移動するデータを追跡する機能が犠牲になっていました。ゼロコピー統合は、手作業によるデータ移動の必要性を排除し、データが元の場所に残るため、データの系統が維持されます。さらに、ゼロコピー統合により、データソース自体で一元的なアクセス制御が可能になるため、セキュリティ管理が簡素化され、データをビジネスに公開する際のリスクを最小限に抑えることができます。
- **生成 AI のグラウンディング** : 構造化データだけでなく、PDF や通話記録、メールなどの非構造化データにも接続できるゼロコピー統合機能により、[Einstein Trust Layer](#) を通じて送信されるあらゆる AI プロンプトに統一されたビジネスデータを迅速かつ容易に取り込むことができます。これにより顧客は、既製の LLM をファインチューニングすることなく、すべての Salesforce アプリケーションに信頼できる適切な生成 AI を導入できます。

重要な理由：ほとんどの企業は複数のシステムを使用してビジネスを管理していますが、アプリケーションの[わずか 28%しか接続されておらず](#)（英語）、ビジネスリーダーの 80%以上がデータの断片化とデータのサイロ化に悩んでいます。完全なカスタマージャーニーを理解するためには、これらのデータを統合し、顧客を 360 度で可視化することが求められます。しかし、散在するデータが課題となり、データの統合やインサイトの創出、エンゲージメントシステムへのフィードバックは困難なものとなっています。

そこで導入されたのが、コピーなしで統合できる Salesforce Data Cloud です。これにより、企業はメタデータを統合しながら、データを元の場所に保持することができます。これにより、Salesforce 内のすべてのデータの能力が解放され、整合化、統一化、また顧客の包括的な可視化が可能となります。営業担当者、サービス担当者、マーケティング担当者の全員が同じ情報を見ることができるため、部門を超えたコラボレーションが促進され、データに基づいたアクションを取ることができるようになり、顧客体験の向上が促進されます。さらに、これらの豊富なインサイトは、企業のデータウェアハウスやデータレイクからもアクセスできるため、下流のアプリケーションでも統合された顧客データを活用できるようになります。

詳細情報：

Microsoft との新しい統合

本日、Salesforce は Microsoft Azure を使用したゼロコピーでの Data Cloud との統合を可能にする Microsoft とのパートナーシップ拡大を発表しました。これにより、顧客は Azure Synapse で重要なビジネスデータにアクセスし、Microsoft Fabric と Salesforce Data Cloud で双方向のゼロコピーデータのアクセスができるようになります（詳細は[原文](#)参照）。

ファイルレベルのゼロコピーデータアクセスのサポートを拡張し、オープンデータレイクやウェアハウスからのデータをロック解除

ゼロコピーによる外部データプラットフォームからのデータアクセスに対する Data Cloud のサポートは、現在ライブクエリによって実現されています。つまり、Data Cloud での操作に外部データセットからのデータが必要な場合、ソースデータプラットフォームのクエリ API に SQL クエリを発行してデータを取得します。ライブクエリパターンは、クエリインターフェイスを

提供するデータウェアハウスでは理にかなったものです。ウェアハウスのネイティブ クエリエンジンには、各プラットフォーム独自のデータ形式でデータを読み取る必要があるためです。

しかし、オープンデータレイクやレイクハウスパターンが一般的になるにつれ、Apache Iceberg のようなデータパワードテーブルフォーマットにアクセスする別の方法もあります。

[Iceberg](#) は、オープンフォーマットであるため、Data Cloud のクエリエンジンはこれをネイティブに読み取り、Iceberg テーブルに格納された外部データを直接参照できます。これにより、Data Cloud でデータを仮想化する新しい低レイテンシな方法が実現し、ストレージレベルでの直接ファイルアクセスが可能になります。

Data Cloud はまもなく、ゼロコピーデータアクセスを、Iceberg にデータを格納する、あるいはテーブルに Iceberg メタデータを提供できるオープンデータレイクやレイクハウスにも拡張する予定です。これにより、データプラットフォームやカスタムデータレイクのエコシステムがさらに拡大し、ゼロコピーのサポートに関する顧客の選択肢が広がります。

新しいゼロコピーデータキットにより、ISV とデータプロバイダーは顧客のために新しいデータセットを解放可能

今日、ISV はデータキットを使用してデータセットを配布し、Data Cloud の顧客データを充実させることができます。データキットは Data Cloud メタデータのコンテナであり、Salesforce AppExchange からパッケージ化してインストールできます。データキットを使用すると、ISV は価値の高いデータセットを Data Cloud の顧客に配布し、そのデータを Data Cloud の顧客データモデルに変換することなく Data Cloud にマッピングすることができます。

データキット にゼロコピーサポートを追加することで、顧客は Dun & Bradstreet、Moody's、Own Company、The Weather Company、Workday、Zoominfo などのパートナーからの新しいサードパーティデータセットにアクセスし、自社のデータプラットフォームへのアクセスに使用しているのと同じゼロコピー統合を通じて顧客プロファイルを充実させることができます。例えば、The Weather Company は、顧客がリアルタイムの地域気象データでデータモデルを充実させることを可能にし、保険会社が大嵐の前に予測的なアウトリーチを行

ったり、リアルタイムの気象データで生成 AI を基礎づけるなど、気象状況に基づいてより多くの情報に基づいた意思決定や行動を取ることを支援します。

開発者は Heroku Postgres のゼロコピーサポートにより、Heroku アプリのデータを解放することが可能に

Heroku はまもなく、Salesforce Zero Copy Partner Network のパートナーを含む、Heroku と Data Cloud の両方を使用する開発者に、リレーショナルデータの可能性を最大限に引き出す機能を提供予定です。データ転送を排除することで、Zero Copy は、Data Cloud を利用した Salesforce エクスペリエンス、および既存の Heroku アプリケーション全体で、強力なインサイトと革新のために Heroku Postgres 上のデータをシームレスに活用することができます。この統合は、多様なスキルセット、言語、オープンスタンダード、完全に管理されたオペレーションをサポートし、管理されたデータの価値を最大化しながら、開発者の柔軟性に対する Heroku のコミットメントを強化するものです。

Zero Copy Partner Network により、Data Cloud のゼロコピー実装を通じて顧客をリードする SI パートナーを支援

Salesforce Zero Copy Partner Network の一員として、Accenture、Capgemini、Coastal、Cognizant、Deloitte Digital、IBM Consulting、Publicis Sapient、PwC、Slalom、Wipro などの業界をリードするパートナーが、ゼロコピー統合パターンを含む Data Cloud の統合を支援できるようになりました。たとえば、金融機関は Salesforce の [SI パートナー](#) を活用して、Data Cloud を既存のデータインフラストラクチャと統合することができます。この統合により、閉じ込められたデータを解放し、顧客のためのリッチでパーソナライズされたエンゲージメントを促進するインサイトを、迅速かつ大規模に生成することができます。

提供時期

- Snowflake および Google BigQuery とのゼロコピー統合は、現在利用可能です。
- Databricks および Amazon Redshift とのゼロコピー統合は、現在パイロット提供しており、2024 年後半に一般提供を開始予定です。

始める

- 迅速に価値を実現できる新しい Data Cloud Starter Bundle の詳細は、[こちら](#)をご覧ください。（英語）
- データの能力を引き出す新しい Zero Copy Partner Network の詳細は、[こちら](#)をご覧ください。（英語）

詳細情報

- 無料の実践的な技術学習を通じて専門知識を習得できる、Trailhead の新しい Unlock Your Data with Data Cloud トレイルは、[こちら](#)をご覧ください。
- Salesforce が最近実施した「Your Data, Your AI」調査の詳細は、[こちら](#)をご覧ください。（英語）

Salesforce について

Salesforce は #1 AI CRM です。CRM（顧客関係管理）+ AI + データ + 信頼を Einstein 1 という一つの統合プラットフォームで実現することで、全く新しい方法で顧客とつながることを可能にします。Salesforce の詳細については、salesforce.com/jp をご覧ください。

ここで言及された未提供のサービスや機能は、現在利用できないものであり、予定通りに、または全く提供されない可能性があります。お客様は、現在利用可能な機能に基づいて購入をご判断くださいますようお願いいたします。

【報道関係の方のお問い合わせ先】

株式会社セールスフォース・ジャパン

広報部

E-mail: pr-jp@salesforce.com